

### 埼玉、五百人会員目標達成 「会員拡大情報」

一面で報道した様に、埼玉同盟は、2月は7名の新会員を迎えて念願の五百名会員を実現することが出来ました。ご協力下さった皆様にあらためてお礼申し上げます。  
今年、6月に第41回全国大会が開催され、また10月には「埼玉同盟」創立50周年記念を迎えます。新しい拡大目標は8月開催の県本部総会で決めますが、当面は、中央本部が設定した4月1日からはじまる「会員拡大特別期間」に積極的に取組み更なる前進で、新しい峰をめざしてまいります。

### 「戦争体験」手記募集!

戦後79年、戦争体験を語れる方がごく僅かになる中で、「二度と戦争を繰り返さない」ためにも戦争体験を語り継ぐことがますます重要になっていきます。「不屈」埼玉版に「戦争体験」を語り継ぐ「欄」を設け、掲載をしてみたいです。ご本人はもちろん肉親などから聞き取った内容でも結構ですので「八百字」程にまとめてお寄せ下さい。(編集部)

### 5月15日「国会請願行動」の 成功めざして遅れている署名 の取組みを強めましょう

国会請願まで2カ月となりました。各支部は目標を達成するように取組みを強めましょう。また、署名を申し入れた団体へは声をかけ、3月末六千筆の節目目標達成めざして活動を強めましょう。

### 署名の目標と到達状況 2024年2月末現在

支部名	個人目標	到達	団体目標	到達	遂行率
岩槻	700	145	15	5	21.0%
川越		5		1	
春日部	300	165			55.0%
ふじみ野	150	4			2.6%
行田羽生	300	173	10	3	56.8%
直属	8,550	2,446	225	36	28.2%
合計	10,000	2,938	250	45	29.1%

### 国会請願署名推進コーナー

#### 個人署名 (414筆)

- 内藤宗助 越谷市 15筆
- 望月たけし 同 25筆
- 橋本静修 さいたま市緑区 33筆
- 相崎國太郎 同 南区 14筆
- 鈴木宏子 同 2筆
- 小池莊市 同 北区 15筆
- 大金正三 同 15筆
- 木村定平 吉川市 5筆
- 新日本婦人の会埼玉県本部 10筆
- 日本共産党埼玉県委員会 11筆
- 同 北部地区委員会 20筆
- 同 さいたま地区委員会 30筆
- 同 東部北地区委員会 30筆
- 同 東部南地区委員会 21筆
- 同 西部地区委員会 22筆
- 国賠同盟 行田・羽生支部 4筆
- 同 春日部支部 82筆
- 同 岩槻支部 60筆

#### 団体署名 (9団体)

- 岩槻革新懇、同 社会保障を守る会、年金組合岩槻支部、全国一般・ポリコール労働組合、行田協立診療所、日本共産党北2支部、同 越谷せんげん台支部、同 岩槻南支部、同 埼玉ユニオン秩父支部、

署名合計 (2月末現在)  
個人署名 2668筆  
団体署名 45筆

国会請願へ埼玉から最高の代表団を送ろう! 団員募集中  
今年、過去最高の20名の代表団を送りたいと思います。希望者は県本部まで申し込んで下さい。交通費等は県本部が負担します。

### 3・15、4・16 記念行事

「春を呼ぶつどい」の成功を  
とき：3月23日(土)13時半  
ところ：埼玉会館 7B会議室  
\*映画「伊藤千代子の生涯」の原作者藤田廣登さんが飯島喜美について語ります。



飯島喜美 (1911~1935)



「闘争/死」のコンパクト(遺品)

### 第2回 県本部理事会の招集

日時：4月15日(月)13時30分  
場所：浦和黑澤ビル3階「ラボ」  
\*関係者は、万障繰り合わせてご参加ください。



「不屈」No597付録  
埼玉版 (No425)  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟  
埼玉県本部  
〒330-0063  
さいたま市浦和区高砂  
2-3-10 黒澤ビル3B  
電話・Fax 048-824-0094  
✉chian2022@gmail.com

### 埼玉「国賠同盟」念願の500名会員を達成! 支部作り成功させ更なる前進で創立記念を迎えよう 大野辰男事務局長が中央常任理事会で5つの教訓を報告

埼玉県同盟は、2月9日、念願の五百名会員を実現し目標を超過達成しました。これは、一昨年開かれた第40回全国大会以降130余名の前進で、全国トップの拡大数となります。  
15日開催された中央常任理事会で、大野辰男事務局長が「埼玉、五百名目標達成の教訓について」発言し全国を激励しましたが、その発言要旨を紹介します。

#### 目標達成の教訓

埼玉同盟は、今年の秋、創立50周年を迎えますが、前大会で「創立記念を三割増の500人以上の会員で迎える」大きな目標を掲げて取り組み、早くも達成することができました。その教訓は、①機関常任理事(会)が同盟運動の今日的役割を学習し、「千代子映画」上映運動などと結合して「埼玉500人会員実現」の政治的団結を固め、そして常任理事15名中13名が成果を上げるなど幹部が先頭に立つて取組んだこと  
②「特別期間の設定」、「地方議員への入会お薦め作戦」など県本部が具体的な作戦を提起し、拡大の経験や進行状況をライン等で知らせ交流



中央常任理事会で発言する大野事務局長

#### 〈国会請願三項目〉

- ①国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- ②国は、治安維持法犠牲者に謝罪し賠償を行うこと
- ③国は、治安維持法による犠牲の実態を調査し、その内容を公表すること

#### 県総会までに支部の倍加を

「支部づくり」は、埼玉にとって最大の弱点になっており、7割を占める点在会員の活動の場を提供するために、も焦眉の課題です。その打開に向け、特別の力を注ぎ、8月開催の県総会までに5つの支部を作る決意です。

### 熱風

「3・11」とか「三・一五」と書いても、それが2011年の東日本大震災と1928年の日本共産党への大弾圧があった年月日であることは承知されることです。年月日の年を省略することは誰かによって決められた事ではなく、日本の歴史を通しての大事業として記憶され記録されることが自ずからの約束事だからでしょう▼三・一五に続いて、翌年の1929年には四・一六が記録されます。同様な表示としてこの時期の年表に「五・一五」「二・二六」を目にします。1932年と1936年の事件で、軍部の一部将校等の決起が、軍部による政治への介入干渉を進めることになり、日本の軍国主義化を加速させました▼ネットで中学生向けの年表を見ますと、5・15、2・26は記されていますが、3・15も4・16もありません。学校現場については分かりませんが、高校受験には必要ないと言ってしまうでしょうか。現在「新しい戦前」とも言われ、「以前の戦前戦争」に抗した祖父母世代の体験や意見を子孫世代に伝える取組み、運動が求められていると思います、3月15日から4月16日の1ヶ月間に何らかの行動を考えたいものです。(天)



### 「建国記念の日」2・11埼玉 県民集会に103人が参加

『建国記念の日』不承認 軍国主義思想の復活に反対し、思想と信教の自由を守る2・11埼玉県民集会が2月11日、さいたま市で開かれ103人が参加しました。参加者は「改憲をめぐる闘いに勝利し、憲法を生かす社会を国民的な共同でつくり出そう」としたアピールを採択して浦和駅西口までパレードしました。

の朝鮮人虐殺の背景には当時の日本にあつた軍国主義思想を背景とした朝鮮人蔑視があつたと報告。軍国主義を許さず憲法を守るために声を上げていこうと呼びかけました。

立教大学の浅井春夫名誉教授が講演し、「罪もない多くの一般人が死ぬのが戦争の実態。民間人をいかにして殺すかが戦争の本質になっている」と指摘。日本政府は軍事費にはお金を出すが、少子化対策には中途半端なお金しか出さないと、子どもに無関心な政府の姿勢を批判しました。



### も言 私一



### 暗黒時代 治安維持法反対を貫いた 山宣から学ぶ

春日部支部 細谷 宣朗

墨田区の小学校で長く教師をしてきたので、退職後は仲間たちと退職者の会をつつて12年活動してきました。昨年10月、仲間13人で山宣の事績を和4年3月5日、山宣は、最高刑死刑という治安維持法改悪案に反対しましたが演説の機会を与えられず、定宿・光栄館に帰宿。夕食中に訪ねてきた右翼に斬す。永島さん作成のガイドブック名は「唯生唯戦」、山宣の造語で「ひたすら生きひたすら戦う」という意味です。百ページながらボリュームたっぷりです。

山宣と山本宣治は、昭和初期、生物学者として女性のバースコントロール(BC、出産調節)を広めました。絶対主義的天皇制の下、軍国主義と侵略戦争が進められ、女性は、産めよ増やせよという

### 埼玉県の戦前における 「社会進歩のたたかいと抵抗の歴史」

連載  
第7回

#### 労働運動のあゆみと社会主義運動のはじまり

自由民権運動につづく県民の自由と権利、生活上をめざすたたかいは、労働者階級の成長とともにほじまりました。埼玉県における近代的労働運動の発祥と共によりを踏み出します。

一八八一(明治一四)年東京・前橋間の鉄道事業を目的として設立された日本鉄道株式会社は、九四年一〇月、県下大宮町に大宮工場を設立しました。それまでの県下の産業は、川口(鑄物)・秩父(織物)・行田(足袋)等にみられるようにマニファクチュア段階の工場がほとんどでしたので、大宮工場の設立は、県下の近代的工場の先駆であり、また、千名を越す労働者数は県下の全労働者数四四〇九名(明治三〇年)の四分の一を占め、県下での地位を際立たせたものになりました。

宮工場設立以前の一九二二(明治二五)年に熊谷駅員に依る県下最初の労働争議が記録されていますが、それは次に記す大宮工場労働者の鉄工組合に依る組合運動と異なりあくまで自然発生的な運動でした。

一八九七(明治三〇)年一二月一日、『近代的労働運動の開幕期』に労働組合期成会の指導により結成された「鉄工組合」は、わが国における最初の近代的労働組合でした。軍需工場・大機械工場の労働者を中心に高野房太郎・片山潜らによつて指導された同組合は、AF L(アメリカ労働総同盟)にみならつた労働者の共済・相互扶助的活動を方針とした「純然たる熟練工の職能別組合」でした。そして、機関紙「労働世界」を発行し、各地に演説会を開催、全国的な宣伝活動を行っていました。

また、明治の社会主義の運動は埼玉にももたらされ、一九〇四(明治三七)年七月、本庄市で幸徳秋水、木下尚江、石川三四郎(本庄市旧旭村出身)らによる社会主義演説会が開かれました。この時期での埼玉県内の「平民新聞」の読者は一人でした。その一人、川越町の印刷工佐々木玉次郎は、日露非戦論を説きながら、社会主義伝道行商を行っていました。

一九一一(明治四四)年大逆事件がおこると、この事件をさかんに「冬の時代」とよばれる一時期がやってきました。しかし、こうした中でも埼玉の労働者は果敢にたたかい、同年四月、片山潜を招いて開いた大宮町の政談演説会では、「幸徳秋水らの陰謀事件を起こした桂太郎首相は、責任を取り引退せよ」と政府を攻撃します。この「冬の時代」に埼玉では、「埼玉売文社」をつくつた岸上克己(浦和)、雑誌『微光』を出版して同志に呼びかけた白倉甲子造(大宮)、堺利彦の売文社に入社し、社会主義の火を燃やし続けようとした田島梅子(小鹿野)らが、社会の不合理に對してたたかひをつづけました。

今年1月末、群馬県立公園・群馬の森に設置されていた「朝鮮人追悼碑」が、県によつて撤去・破壊されました。

「記憶 反省 そして友好」と書かれた追悼碑は、群馬県議会との合意を経て市民団体が2004年に設置したもので、戦前日本が朝鮮半島を植民地支配し、多くの朝鮮人が「政府の労働員計画」によつて全国の鉱山や軍需工場に動員され少くない人が亡くなった歴史の事実を深く記憶にとどめ、心から反省し、二度と過ちを繰り返さないと表明していたものです。

撤去に至る経過は、県が碑の前で開かれていた追悼集会で、出席者から「強制連行」という発言があつたとし「政治的行事及び管理を禁じた公園使用許可の条件に違反する」という理由で更新を拒否し、裁判が争われていたもので、22年6月に最高裁で高裁判決(県の主張を全面的に認め、守る会の請求を棄却)が確定しました。それから1年半、市民団体やアーティストなどの抗議を押し切る形で、群馬県は行政代執行法に基づき、碑の撤去を強行したものです。歴史の真実を学び、顕彰し、継承する「国賠同盟」としては、黙過できない問題として県に強く抗議したい。(池)

### 同盟文芸

#### 短歌

誕生日祝つてくれる梅四厘  
真冬の育児亡き母偲ぶ

春日部市 細谷 宣朗

不当にも祖国追われるパレスチナ人  
難民の苦痛を今日も想いいる

宇都宮市 宮地 さか枝

#### 俳句

四季咲きのバラ美しくや雪の朝  
春光る術後に優しいサンングラス

春日部市 浅子 薫衣

啄木忌握れば若き拳

行田市 大野 辰男

さいたま市 小池 莊市

盆梅の花一輪に春想い

行田市 鈴木 みち

#### 川柳

ボランティア行けぬが募金能登地震  
森伐つて東京砂漠にする都知事

春日部市 福家 駿吉

#### 時話題

#### 群馬・朝鮮人追悼碑 撤去に強く抗議する

今年1月末、群馬県立公園・群馬の森に設置されていた「朝鮮人追悼碑」が、県によつて撤去・破壊されました。

「記憶 反省 そして友好」と書かれた追悼碑は、群馬県議会との合意を経て市民団体が2004年に設置したもので、戦前日本が朝鮮半島を植民地支配し、多くの朝鮮人が「政府の労働員計画」によつて全国の鉱山や軍需工場に動員され少くない人が亡くなった歴史の事実を深く記憶にとどめ、心から反省し、二度と過ちを繰り返さないと表明していたものです。

撤去に至る経過は、県が碑の前で開かれていた追悼集会で、出席者から「強制連行」という発言があつたとし「政治的行事及び管理を禁じた公園使用許可の条件に違反する」という理由で更新を拒否し、裁判が争われていたもので、22年6月に最高裁で高裁判決(県の主張を全面的に認め、守る会の請求を棄却)が確定しました。それから1年半、市民団体やアーティストなどの抗議を押し切る形で、群馬県は行政代執行法に基づき、碑の撤去を強行したものです。歴史の真実を学び、顕彰し、継承する「国賠同盟」としては、黙過できない問題として県に強く抗議したい。(池)